

- ② 防災ポケットブックが完成
- ③ 県内初の助成で保育環境を充実
- ④-⑤ 特集 子どもたちのために変わるPTA
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



新型コロナウイルスの影響で今年は実施しなかった
ぼうさいの丘公園のサクラのライトアップ（写真は昨年撮影）

まちを見守り たたずむサクラ

夜空の下、暗闇に浮かぶ花明かり。昼の華やかさとは違う、幻想的な美しさを見せる。サクラの薄紅色の花びらは、私たちに春の訪れを告げる。

春は、旅立ちの季節。別れの寂しさが胸をかすめると同時に、新たな出会いに気持ち躍る。そして、今年はいつもと少し様子が違う春を迎えた。いつもより人影まばらな街並み、いつもより早い友との別れ。でも、サクラは変わらぬ姿でこのまちにたたずんでいる。

サクラは毎年花を咲かせる。春が過ぎ、夏には再び芽吹くための準備を始め、秋になると眠りに就く。冬の寒さを乗り越え新しい春を迎えると、優しい暖かさには包まれながらつぼみをほころばせる。

来年、いつもと同じ春を迎え、花とともに満開の笑顔が咲く。その時に向け、サクラは今日も私たちを見守っている。

新型コロナウイルス感染症の関連情報

国内での感染拡大を受け、中止になるイベントや休館になる公共施設があります。市HPで随時お知らせします。☎健康長寿推進課☎225-2174



市内のサクラを「#niceatsugi」で共有

市内で撮影したサクラの写真を「#niceatsugi」を付けてSNSで共有しませんか。

▶市公式Instagramでもサクラの情報を発信



☎広報課☎225-2040

Q Zoom Up

日頃の備えをサポート 災害対策をまとめた冊子が完成

災害時、日頃の備えや正しい知識の有無は命の行方を左右します。市では、いざという時の行動や事前準備の方法などをまとめた防災ポケットブックを、4月1日から全戸に配布。地区ごとに災害時のリスクを集約した地区別防災マップの作成も進めています。災害への備えを改めて見直しましょう。

昨年10月に全国で甚大な被害をもたらした台風19号では、市内でも倒木や冠水など100件を超える被害がありました。相模川が氾濫するかもしれないという緊迫した事態に、避難場所などを確認する問い合わせも多く寄せられました。こうした経験を元に、市では災害時の対応を一冊で確認できる防災ポケットブックを作りました。

災害ごとに対策を

防災ポケットブックには、地震・風水害の対策や避難時の注意点などを記

しています。地震なら家具の配置やとっさの行動、風水害なら情報収集の手段や避難のタイミングなど、災害ごとの要点を掲載。家庭での備えに活用できるよう、付録も充実させています（右下欄参照）。防災指導員の米田さんは「家族や地域で繰り返し冊子を見て、自分の身は自分で守るといふ自助の意識を持つきっかけにしてほしい」と呼びかけます。

冊子はコンパクトな大きさにし、持ち運びや保管にも配慮しました。いざという時にすぐに確認できるように、目に付く場所に保管し、定期的に見直し

市民協働で対策を強化

ましよう。

市では昨年、市民の皆さんと協働で市内15地区ごとに災害時のリスクや課題を洗い出し、地区別防災マップの作成を進めています。多くの声を取り入れるために、各地域で計40回を超える説明会やワークショップを開催。本年度中の全戸配布を目指しています。妻田小学校の避難所運営委員としてワークショップに参加した藤井哲雄さん（64・妻田南）は「地域が一緒になって取り組むことで、自然と一人一人の防災意識は高まる。実用的な情報も多くなり、地域での支え合いにもつながる」と期待を込めます。

さらに本年度、これまでの洪水浸水や土砂災害などのハザードマップを集約したオールハザードマップを作成し



あつき 元気Wave
4/1~CATVで放送

家族で避難経路や備蓄を確認



地区ごとに開催した防災のワークショップ



台風19号で水没した河川敷のスポーツ広場

指定緊急避難場所 周知プレート 3月設置

災害時の避難場所を示すプレートを新設しました。避難に適した災害の種類も表示しています。

【設置場所】
公民館
児童館
老人憩の家
(計96カ所)



災害時に強いまちに
災害時の被害を最小限にとどめるために、市は今年、事前の対策を強化して災害に強いまちを目指す「市国土強靭化地域計画」の策定に向けて動き出します。一人一人の備えを充実させることはもちろん、企業との連携なども盛り込み、まち全体で災害対策に取り組めます。市の対策と市民の皆さん一人一人の備えが、多くの命を救います。改めて防災対策を見直しましょう。

☎危機管理課 225-2190

4月1日から全戸配布をスタート

防災ポケットブックで備えを

自然災害は日頃の備えで被害を少なくできます。防災ポケットブックを使って、家庭での備えを確認しましょう。



自分ならではの備えを

- 「備蓄チェックシート」で非常持ち出し品を準備
- 「わが家のマイ・タイムライン」で行動表を作成
- 「わが家の防災メモ」で家族などの緊急連絡先を確認

市HPでも公開 [厚木市 防災ポケットブック](#) 検索



防災指導員
米田 修治さん
(64・松枝)

家庭に合った対策を

取るべき行動や避難場所は災害ごとに違います。いざという時に慌てないために、避難経路や緊急連絡先を家族で話ししておくことが大切です。食料や日用品などの備蓄も忘れずに。ポケットブックは、いつでも見られる場所に保管しましょう。

地区別防災カルテもチェック

地区別防災マップの配布に先駆け、地区ごとに災害のリスクをまとめたカルテを市HPで公開しています。

詳しくは [厚木市防災カルテ](#) 検索

☎危機管理課 225-2190

緊急情報をいつでも身近に

防災ラジオを有償配布

屋内でも防災行政無線の情報を聞けるラジオを有償配布します。

【対象】市内在住の方・事業所・団体
【費用】1台4千円 【配布時期】8月以降
【配布予定台数】100台

☎危機管理課や公民館、市HPにある申込書を、直接または郵送で4月30日(必着)までに〒243-8511危機管理課へ。抽選。

☎危機管理課 225-2190



- 1 自動録音機能で最新の放送を繰り返し再生
- 2 AM・FM利用可。緊急時には市の情報を優先
- 3 市内どこでも受信可能



幼稚園教諭をサポートし、保育サービスを充実

Zoom Up

幼稚園で働く先生たちを応援 県内初の助成で保育環境を充実

子育て世帯が安心して子どもを預けられる環境を整えるため、4月から私立幼稚園の人材確保や復職支援のための助成制度を導入します。保育の担い手を増やし、子育て環境のさらなる充実を進めます。

共働き世帯などの増加で子育ての環境が変化する中、保育の需要は年々高まっています。市では、待機児童を解消し、安心して子どもを預けられる環境をつくるため、これまで保育所で働く保育士の人材確保に向けた助成金制度などを導入してきました。

県内初の二つの助成金

本年度スタートするのは、市内で働く幼稚園教諭を対象にした助成金制度です(左欄参照)。

一つ目は、「幼稚園教諭奨学金返済助成金」です。資格を取るために奨学金を借りた方に、返済の一部を支援します。二つ目は、市内の私立幼稚園に就職・勤務する方に、転入費用の一部を助成する「幼稚園教諭転入奨励助成金」。この二つの助成により、幼稚園への就職や転職を考える方に市内での就職を促します。

さらに、「幼稚園教諭復職等奨励助成金」を新設。子育てなどを理由に現

場を離れていた方の復職をサポートします。

「保育の受け皿を拡大するには、施設の整備だけでなくそこで働く人の確保が重要」と話すのは、厚木地区私立幼稚園協会会長の小島厚子さん(60)です。「新たな助成金で子どもに関わる人手が増えれば、預ける保護者の安心にもつながる」と期待を込めます。

子育て環境日本一を目指して

保育や教育環境の充実には、人材の確保に加え受け皿の拡大が欠かせません。市では他にも、特別支援教育や預かり保育、外国籍児童の受け入れ経費をはじめ、認定こども園の受け入れ枠拡大や環境整備などにかかる経費を補助。子どもたちの受け入れ体制の充実にも同時に取り組んでいます。

子育て環境の充実には、若者の定住促進にもつながります。市では、多様な保育ニーズに対応し、誰もが安心して子育てができるまちにするため、これからも充実した整備に取り組んでいきます。

☎こども育成課 ☎25-2262

幼稚園教諭をサポートします

◆幼稚園教諭奨学金返済助成金

《対象》市内在住で①採用後3年未満の市内私立幼稚園の常勤幼稚園教諭②奨学金を利用して資格を取得し返済中の一の全てを満たす方

《助成額》奨学金返済費用として年上限20万円、最長3年間(市内の私立幼稚園に勤務している期間中に限る)

◆幼稚園教諭転入奨励助成金

《対象》市内在住で①市内私立幼稚園の常勤幼稚園教諭②転入後3カ月以内の一の全てを満たす方

《助成額》一律5万円+転入経費として上限5万円

◆幼稚園教諭復職等奨励助成金

《対象》市内在住で①幼稚園教諭として働いていない期間が1年以上あり、市内の私立幼稚園に常勤幼稚園教諭として復職②幼稚園教諭としての就労経験がなく、資格取得から1年以上経過し、市内の私立幼稚園に常勤幼稚園教諭として就労一のいずれかを満たす方

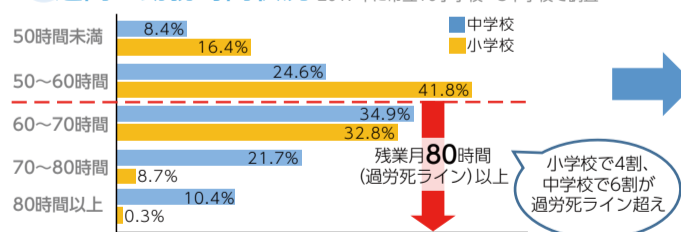
《助成額》一律10万円

助成金は、市内の方からの善意の寄付を基に創設した「久保子どもの未来応援基金」を活用しています。

方針策定 子どもたちと向き合う時間を増やすために 先生の働き方改革を進めます

教職員の負担を減らし、児童・生徒一人一人へのきめ細かい教育につなげるため、「市立小・中学校における働き方改革に関する方針」を策定しました。方針で定めた目標を達成するため、七つの取り組みを進めます。 ☎教育総務課 ☎25-2663

1週間の勤務時間状況 2017年に市立10小学校・3中学校で調査



目標とする時間外勤務

1カ月の残業時間
45時間以内
年間
360時間以内

目標達成に向けた七つの取り組み

学校業務の適正化

教育委員会などから学校に依頼する調査や照会などを見直し

学校の支援の工夫

保護者や地域の皆さんの協力を得て新たな学校支援の在り方を検討

学校閉庁日の拡大

現在の8月13~15日に加え、新たに学校閉庁日を設けることを検討

働き方改革の理解促進

保護者や地域の皆さんに理解を深めてもらうため、積極的に情報を提供

意識改革の推進

教職員向けの研修や学校の運営方針などに働き方改革の視点を導入

労働安全衛生管理体制の充実

勤務時間の把握や休暇の取得、健康管理、職場環境の改善を実施

部活動に関する方針の徹底

生徒の健康面に配慮した休養日を週当たり2日以上設定することを徹底



初めての子育てを応援 紙おむつやおしりふきを支給します

これまで、第2子以降の子どもを育てる家庭に支給していた紙おむつやおしりふきなどが、第1子から受け取れるようになります。

対象 ①2020年4月1日以降生まれの第1子がいる②市内在住で、対象の子どもと同居している一の全てを満たす保護者

支給品 紙おむつ、おしりふきシート、赤ちゃん用ウェットティッシュなど。1カ月当たり450点(4500円)まで。超えた分は自己負担

支給期間 申請月の翌月から12カ月

■第2子以降もこれまでどおり対象
第2子=申請月の翌月から12カ月
第3子以降=申請月の翌月から2歳に達する月まで

詳しくは [厚木市 紙おむつ](#) [検索](#)

☎子育て給付課 ☎25-2230



変わるためには PTA同士のつながりを

市立小中学校PTA連絡協議会
有坂 克幸会長(53・酒井)

私自身も相川小学校のPTA会長をしています。役員になる前は敷居の高さを感じていましたが、いざ活動してみると、保護者同士のつながりが広がり、自分自身も成長できる場だと思いました。PTAの活動は、学校ごとにそれぞれ違うやり方があります。自分の学校が当たり前だと思わず、客観的に見て改善していくためには、PTA同士の横のつながりが欠かせません。会では全校の情報交換の場を設け、力を合わせて共通の課題に向かっています。スマートフォンの普及や共働き家庭の増加など、子どもを取り巻く問題も時代と共に変化しています。多岐にわたる課題に対応するには、学校と家庭が共に進んでいくことが大切です。



各校の会長が集まり情報交換



新入生保護者会でPTAへの参加を呼び掛ける成田会長

「役員をやりたい方はいますか」。新入生保護者会での呼び掛けに、勢いよく手が挙がります。定数を上回る希望者に思わず顔をほころばせるのは、小鮎小学校PTA会長の成田敦さん(44)。「手が挙がるようになってきた。子どものためにやってきたことが、新入生の保護者に伝わっているのかなと思う」。4年前、当時の会長に誘われPTAの活動を始めた成田さん。何をやるのか分からず、なぜ仕事もあるのに自分の時間を使って学校の手伝いをしなければいけないんだろう、と感じていました。面倒と思いつつも活動に参加すると、登校時の編成や管理、運動会での保護者対応など、PTAが学校の運営に深く関わっていることを知り、中々も印象に残っているのは、ボランティアにも関わらず、「子どもたちのためだから」

誰にでも できるPTAを 目指して



小鮎小学校PTA



「いつも笑顔で草むしりやプール清掃に参加する先輩役員の姿。場所が学校になっても、子どもの世話をするのは親の役割。PTAも特別なことではないんだ」。手伝いはなく、親として自分のやるべきことと感じた成田さんは、楽しみながら活動に臨むようになりました。

子どものための視点で見直し

3年前に会長になった成田さん。子どもを楽しませるにはまず親が楽しまなくてはと考え、役員が負担なく活動できるように、少しずつやり方を変えてきました。前会長が進めた引継ぎマニュアルの作成に続き、会議を一つにまとめて回数を削減。



PTAの活動を伝える広報紙を作っています。

成田さんはこの春退任し、次の会長へバトンを渡します。「僕も初めは嫌だったけど、活動の大切さを知った。他の人にも伝えたい」。時代に合わせたやり方を変えながら、子どもを思う保護者のつながりは、確実に受け継がれていきます。

教師と保護者が共に歩む

「無理なくやろうと言っても、実際にそうするのは難しい」。そう話すのは、小鮎小の田所直子校長(56)です。「保護者にとって、学校に意見するのはとても勇気のこと。PTAには穏やかな雰囲気があり、役員さんが保護者目線の意見を気軽に伝えてくれるので助かっています」と笑顔を見せます。子どもが安全な環境で育つことは、保護者と教員の共通の目標。共に進んでいくのが理想の学校の姿と田所校長は考えます。

新しい学校支援のかたち 地域で学校を支えるCS

コミュニティ・スクール

学校を支えるのは保護者だけではありません。全市立小・中学校に導入しているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)では、子育てを終えた方なども学校の応援団として授業の補助や見守りなどの活動に参加できます。



机・椅子の高さを調節 ミシンの授業を補助

詳しくは 厚木市 コミュニティ・スクール 検索

教育総務課 ☎225-2663

誰もががやりやすいように変えられる

睦合東中PTA本部 福山 なおみさん(46)



会議時間の削減や委員会の合併など「PTAの働き方改革」を進めていると聞き、今年から役員になりました。議題や調整事項は事前に伝えるので、会議は1回30分、年に6回だけ。一人で子育てと仕事をして

いる私にもできました。初心者の目で見ると「なんとなく続ける」「去年と同じ」で続いてきた中にも、無駄があると分かります。運営を変えていけるのも本部役員ならではの。子どものために必要な活動なので、続けていきたいです。



働き方改革の見える化の一環で作成した壁新聞

学校と保護者をつなぐ広報紙に

玉川中PTA広報委員会 小島 恵子さん(37)

PTAの活動を伝える広報紙を作っています。中学校は親が学校に行く行事が少ないので、学校を身近に感じられる内容にすることを心掛けています。広報紙を見た人に声を掛けられたり、子どもが喜んでくれたりするとうれしいです。5人の子育てと仕事、PTA活動を両立するのは大変なこともあります。私も子育てで周りの人に助けられたので、学校や子どものためにできることをしていきたいです。



6人の委員で分担して作成

気楽に楽しめるPTAに

戸田小PTAふるさと委員会 野崎 興彦さん(33)



委員の仲間や校長と(中央右が野崎さん)

郷土の遊びを伝えようと始まった委員会で、スポーツチャンバラやテレビ番組をまねた鬼ごっこなどのイベントを企画しています。みんなで考えた催しで子どもたちが喜んでくれるとやりがいを感じます。以前は、PTAは堅苦しいイメージがありました。堅すぎると参加するハードルが上がりが、萎縮してしまいます。楽しさは気楽さから生まれるはず。子どもも大人も楽しめるPTAにしていきたいです。

60人の子どもが集まったスポーツチャンバラ大会

子どもの安全は地域みんなで守る

依知南小PTA校外生活指導委員会 内山 恭子さん(39)



校長や本部委員と(左が内山さん)

登校中、交通量の多い交差点で子どもを見守るあいさつ運動が主な活動です。4年前に児童が交通事故に遭ったことを機に、保護者や地元の方にもボランティアを募り、協力して見守っています。子どもの安全のために何かしなければ、という気持ちを引き継いでいきたいです。今後の課題はなり手不足。一部の人の活動だけでは続きません。活動を理解してもらい、みんなで安全な環境をつくってほしいと思います。



ボランティアと交代で見守っている

どんな活動をしているの？

PTAには、活動の内容ごとに組織された「委員会」があります。役員として活動する皆さんの声を聞きました。

PTA			
本部 …活動の取りまとめ			
広報	成人	校外	学年
PTA広報紙の作成	保護者向け学習会の企画	登下校の見守りなど	各学年の行事などの補助

その他、学校独自の委員会も

子どもたちのために 変わるPTA

子どもたちの健やかな成長のため、保護者と教員が手を取り合うPTA。欠かせない存在である一方、役員のなり手不足や会員の負担増加など、課題も見られます。負担を減らすために工夫し、やり方を変えながら活動を続けているPTA役員の皆さんの姿を追いました。

☎社会教育課 ☎225-2513



PTAって、何のためにあるの？

PTAは、教員と保護者が対等な立場で意見し合える場です。校内の美化や見守りなどを通し、子どもが安全に過ごせる環境をつくっています。子どもの健やかな成長のためにアメリカで始まり、1946年以降日本にも広まりました。学校給食の制度化や教科書の無償化など、教育環境をより良くしてきました。

役員302人に聞きました 役員経験者の本音

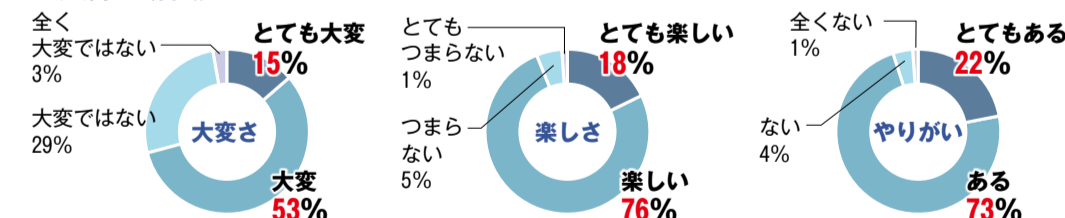
全小・中学校PTA役員にアンケート(2020年2月実施)

Q.役員になる前の気持ちは？



お父さんお母さんたちは、どんな気持ちでPTA役員をしてきているんだろう？

Q.実際に活動した感想は？



自分の子どもがお世話になっている学校に少しでも協力できて良かった

新しい仲間との出会いやつながりを得られ、役員をやった良かった

役員をする前は、PTAの存在に疑問を持っていた。実際に経験してみると、保護者の協力は必須だと痛感した

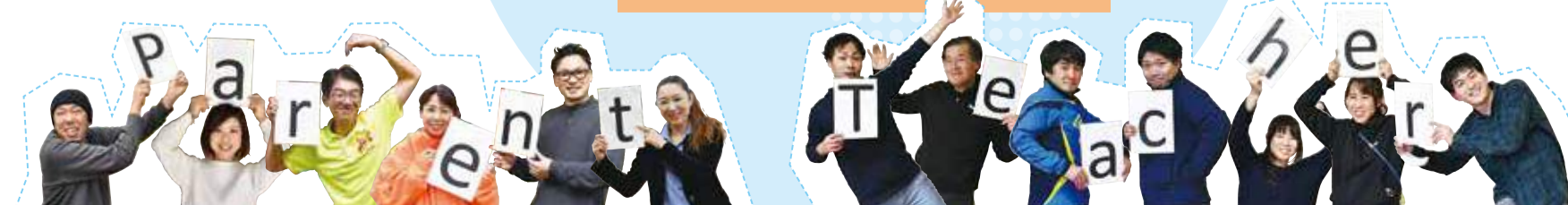
先生方と話す機会が増えて、子どものことを相談しやすくなった

子どもたちが喜んで手を振ってくれたり、応援してくれたりするとやりがいを感じる

保護者同士の関わりが少ないこの時代に、PTAをきっかけにいろいろな人と交流できた

今まで知らなかったところで、いろいろな方の活動の下、子どもたちの安心・安全が守られていると知った

子どもたちのためになる活動だから、もっとやりやすいように考えたら、親が参加しやすくなると思う



市民協働でより良い公民館に 南毛利公民館が優良公民館表彰を受賞



「皆さんの協力のおかげ」と感謝を話した小瀬村さん（左から2番目）

南毛利公民館が2月に文部科学省の優良公民館表彰を受賞し、小瀬村泰久前館長が小林市長に喜びを報告しました。賞は、社会教育活動をする施設のうち、特に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設に与えられるもの。同館は、子育てサロンや子ども粘土教室といった親子への支援や、もち米作りやたこ揚げ大会をはじめとする季節のイベントを通して交流事業の取り組みが認められました。小瀬村前館長は「賞は地域の皆さんの努力のたまもの。これからも市民協働で、より良い地域づくりに取り組んでいきたい」と話しました。

手作りの大豆から学ぶ食の大切さ 上荻野小で児童がみそ造りを体験



つぶした大豆を丸めておけに保存

上荻野小学校で、児童らが手作りの大豆を使ったみそ造りを体験しました。みそ造りは、上荻野小が全児童で取り組む「大豆プロジェクト」の一環で実施。大豆の種まきから始まり、栽培、収穫、加工、調理までを手掛けます。体験は、袋に入れた大豆を踏む工程からスタート。児童たちは交代で踏みつぶしたり、こうじ菌などを混ぜ込んだりしました。体験後、「温かい大豆を踏むのが気持ち良かった」「どんな味がするのか、食を話していました。完成したみそは半年間寝かせ、調理実習でみそ汁作りに使います。



幅広い世代が安心して楽しめる公園 「あさひ公園」がリニューアルオープン

大雨の際に浸水被害を防ぐため、2017年から雨水をためる施設を地下に建設していた旭町のあさひ公園が、リニューアルオープンしました。公園には、大きな木をイメージした大型複合遊具や滑車付きロープなどの他、イベントにも活用できる広場を整備しました。式典で小林市長は「公園が完成したのは、近隣の皆さんの理解と協力があってのおかげ。皆さんの安心・安全を守る場になれば」とあいさつ。訪れた佐藤希美さん（12）は「オープンが待ち遠しかった。遊具が新しくなっとうれしい。たくさん遊びに来たい」と笑顔でした。



オープン初日には500人を超える近隣住民が訪れた

諦めない努力が夢をかなえる 永里源気さんが鳶尾小で特別授業



47人の児童に夢を持ち努力を続ける大切さを伝えた

市内出身ではやぶさイレブンに所属するサッカー選手の永里源気さんが、母校の鳶尾小学校で特別授業を実施しました。卒業を控えた児童からは、プロになる目標を達成した永里選手の体験から、夢をかなえるために考え続ける大切さを学びました。授業を受けた板倉心羽さんは「話がとても分かりやすく、運動も楽しかった。私も夢や目標に向かって、毎日を一生懸命頑張ろうと思った」と目を輝かせていました。永里選手は「どうすれば課題をクリアできるか考えながら、諦めず着実に進んでもらいたい」と児童らの将来に期待を寄せていました。

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



2月のサッカーチームとの交流で活躍した通訳ボランティア（中央左）

通訳ボランティアの活動
NZの競技チーム滞在時やイベントなどでは、選手らと市民の皆さんを橋渡しする通訳ボランティアが活躍しています。6～8月に男子バスケットボール、男女サッカー、ゴルフ、車いすラグビーなどのチームが訪れた際には、市民の皆さんとの交流をサポートします。

- 通訳ボランティアを募集**
- 《対象》英語で日常会話ができる方 10人程度
 - 《時期》6～8月（説明会・研修会を5月中旬に開催）
 - 《内容》事前キャンプの交流イベントでの通訳

体験談
緊張したけれど、選手との会話で初めての通訳を体験でき、視野が広がった（10代女性）
プロのスポーツ選手と直に話せる機会はなかなかない。話も面白く、良い経験になった（60代男性）

市HPにある申込書を、直接または郵送で4月24日（必着）までに〒243-8511 企画政策課へ。

2020年東京五輪・パラリンピックに向けて、ホストタウンとなったニュージーランド（NZ）との交流事業を紹介します。

市長 小林 孝良

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がる中、国の要請を受けて厚木市でも小・中学校の休校などを決断しました。同時に、共働きの家族を支援するため、放課後児童クラブを午前から臨時で開設し、公民館でも、一時預かりを実施しました。現地を訪れると、宿題や将棋、トランプなどをしながら過ごす子どもたちの姿がありました。声を掛ける笑顔が返してくれましたが、本来

正解は今のところありません。それでも、市民の皆さんの安全を守るのは私の責務であり、状況に則した決断をしなければなりません。子どもたちのサポートやケアに努めていただいている地域・保護者の皆さんには、深く感謝を申し上げます。これからも、市民の皆さんと市がしっかりと手を取り合い、この状況に立ち向かえるよう取り組んでまいります。

トランプで遊ぶ子どもたち

人類が経験したことの無いこの感染症への対応に、完璧な安全を守る決意を強くしました。

の学校生活が突然終わり、戸惑いや不安が垣間見える子もいました。やり場の無い思いを抱える方がいることに心を痛めるとともに、皆さんの安全を守る決意を強くしました。

タウンガイド

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 ㊚=講座予約システム(㊚印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「㊚」印と記されたものは、申し込み可)
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「ぼうさいの丘公園の夕暮れ」

#2月19日撮影
 #ぼうさいの丘公園
 #夕暮れ
 #niceatsugi
 広報課公式インスタグラムで公開中



食品ロスを上手に減らす

フードバンクに協力を

食品ロスを減らすため、家庭で余った食品を募集します。回収した食品は、必要な家庭に無償で提供します。

《日時》4月15日 10～15時
 《場所》あつぎ市民交流プラザ
 《対象》①賞味期限まで2カ月以上ある②常温保存できる③未開封一の全てを満たす食材
 ☑当日直接会場へ。



☎環境事業課 ☎225-2780

移転します。新しい場所は行政経営課統計調査係＝本庁舎3階、福祉総務課福祉政策係・地域包括ケア推進担当＝第二庁舎1階、商業にぎわい課プレミアム付商品券事業に関すること＝第二庁舎8階。☎行政総務課 ☎225-2280。

康長寿推進課 ☎225-2174・㊚224-8407・✉2250@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

本入れバッグの配布

小学校に入学した児童に、市立小学校を通じて本入れバッグを配布します。私立小学校の場合は、中央図書館で受け取れます。☎中央図書館 ☎223-0033。



高齢者や障がい者への虐待を見掛けたら

虐待が疑われる行為を発見した場合は、すぐに連絡してください。生命に危険がある場合は、すぐ警察に通報してください。

《連絡先》平日8時30分～17時15分＝権利擁護支援センター ☎225-2939、休日・夜間＝市役所代表 ☎223-1511へ。

グルメフェスタなどの開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、①かながわグルメフェスタ②あつぎスイーツランド③かなキャラ大集合!の開催を中止します。☎①②商業にぎわい課 ☎225-2840、③観光振興課 ☎225-2820。

感染症対策に協力を

小まめに手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」です。正しい手洗いの方法は市HPへ▶



荻野運動公園の指定管理者が決定

《指定管理者》荻野運動公園マネジメント共同企業体《指定期間》4月1日～(5年間)。☎公園緑地課 ☎225-2410。

生涯学習推進会議の委員を募集

生涯学習の推進などに向けて意見する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない一の全てを満たす方2人《任期》6月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☑文化生涯学習課や市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月1日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課 ☎225-2512・㊚225-3130・✉0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

健康食育推進協議会委員を募集

市民の健康増進や食育推進に向けて協議する委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3～5回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない一の全てを満たす方3人《任期》6月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☑保健福祉センターや市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月8日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1健

夕焼け市がスタート

4月15日～10月28日の水曜、17～18時(9・10月は16～17時)。荻野運動公園。市内産の農産物や加工食品などの販売。4月15日はオープニングフェアとして、買い物した方に先着でプレゼントあり。☎農業政策課 ☎225-2801。



危険物取扱者試験・受験準備講習会

《試験》6月7日(時間は試験の種類により異なる)。神奈川大学(横浜市)。☑消防試験研究センターHPから申し込みまたは申込書を〒231-0015横浜市中区尾上町5-80消防試験研究センター ☎045-633-5051へ。申し込み期限など詳しくは同センターHPに掲載《受験準備

講習会》5月9日。消防本部。9600円。☑申込書を、5月8日までに直接、予防課へ。

いずれも申込書は消防本部や各消防署・分署で配布。☎予防課 ☎223-9369。

ベビーマッサージ

4月24日、10時30分～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。オイルを使ったマッサージで赤ちゃんとの触れ合い方を学ぶ。市内在住の生後1～6カ月の赤ちゃんと保護者15組(既受講者を除く)。300円(オイル代)。☑4月8～17日に子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。☎1912002



事務室の一部移転

4月から市役所の事務室を一部

古民家岸邸 端午の節句

無料

昔から続く子どものための祭りを、古民家で味わいませんか。

《日時》4月15日～5月6日

10～17時
(4月20・21・27・28日は休館)

《内容》よろいかぶとやこいのぼりの展示。5月4日、10～14時に昔遊び・民話のお話し会あり。

☑当日直接会場へ。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



①重厚な雰囲気のあるよろいかぶと②子どもも興味津々③子どもの成長を願う気持ちが込められたこいのぼり

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

3月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆子どもの絵本をよく借りるので、わかあゆ号リニューアルに興味を持った/30代女性 ◆私の地域では自治会活動が活発だが、高齢化が課題/70代以上男性 ◆新年生の交通事故が多いと知った。いつも以上に注意して運転したい/50代女性 ◆ジュニアリーダーが厚木の明るい未来を支えてくれそうで、うれしい気持ちで読んだ/50代女性 ◆あさひ公園がきれいに生まれ変わって良かった。完成を知りうれしかった/50代男性

編集後記

どの学校のPTAにも共通していたのは、役員の方々と先生が気兼ねなく話していること。先生と保護者の仲が良いと子どもにどんな影響があるのか尋ねると、小鮎小の田所校長から「保護者と先生、地域の人みんなが顔見知りであることは、安全な地域をつくる」との答えが。イベントや見守りなどの目に見える活動だけではなく、見えないつながりでも子どもたちは守られているんだと感じました/前場



第47回 広報写真コンクール 入賞作品が決定

市内外から集まった238作品(うちインスタグラム(インスタ)部門120作品)の中から14の入賞作品が決まりました。入選作品は地下道のロードギャラリーや市HPで見られます。☎広報課☎225-2040

《審査員講評》厚木の今を撮った風景、イベント、そして笑顔の市民が写っている良い作品が多く、選考に苦勞した中、作家の思いが強く伝わる作品を選びました。誰もが簡単に写真を撮れる時代。上手さよりも、対象に真っすぐカメラを向けることが大切です。

【一般部門】市長賞=①斎藤文夫/神奈川新聞社賞=②佐藤勝利/入選=③戸塚正夫④山田慎吾⑤近藤直美⑥大坪将文⑦服部恒子⑧町野正樹/審査員奨励賞=⑨林吉経 【インスタグラム部門】市長賞=⑩今村圭吾/「いいね!」最多賞=⑪白川輝/入選=⑫奥野悟史⑬佐々木拓⑭福澤京子(敬称略・順不同)



広報番組などでまちの魅力を発信 **新 市民リポーターが決定**

市民リポーターとして24人が決まりました。新たなメンバー6人を加え、市の魅力やまちの話題などを市民目線で発信していきます。
☎広報課☎225-2040



学生メンバーを募集! 4月から大学生や専門学生になった方を対象に、市民リポーターを募集します。
《活動内容》番組リポーター、カメラマン、モデル、司会など 《対象》市内在住在学の18歳以上の学生(高校生不可)で、2022年3月31日まで活動できる方5人程度
《報酬》1回2千~1万円
☑履歴書(志望動機・希望の活動内容を記載)を、直接または郵送で4月30日(必着)までに〒243-8511広報課へ。書類選考後、オーディション(5月23日)の詳細などを通知。詳しくは市HPに掲載。

自然歳時記

● ナナホシテントウ ●
テントウムシ科

体長8mmほどの小さい昆虫。植物の汁を吸うアブラムシを食べてくれる益虫で、成虫で越冬する。暖かな日は、アブラムシ探して忙しい/玉川、酒井付近の土手で見つけた。
写真・文/吉田文雄



春の花が咲くと、ナナホシテントウが動き始める。忙しそうに動き回るのは、この時期、餌となるアブラムシが少なく探し回っているから。晴れた日に土手や畑の草むらに行くと、必ずと言っていいほど見掛ける昆虫だ。
ナナホシテントウは、その名のとおり背中赤い羽に七つの黒い斑紋がある美しい昆虫。植物の新芽を枯らすアブラムシをたくさん食べてくれる益虫でもある。
一方、アブラムシから甘い蜜をもらうクロオオアリは、テントウムシから食べられないように救ってあげる。生き物たちの世界は、天敵もいれば共生するものもいて、うまく成り立っていると思った。

厚木市の人口 (3月1日現在) **世帯数** 10万405世帯 (前月比107世帯減) **人口** 22万4169人 (前月比242人減) 男11万5985人・女10万8184人

庭木1本から承ります!

お客様へのお約束
◆庭木1本より**明瞭料金**
◆**土日でもOK**です
◆トイレはお借りしません
◆お茶はご遠慮します

広報あつぎをご覧の方に
生垣剪定幅 1m(高さ2m)
通常 **2,000円**を(※税別)
先着**10名**のみ 2020年3月1日現在
1,000円!

株式会社 **ガーデンエクスプレス**
相模原店 相模原市緑区橋本3-11 営業時間 9:00~17:00
0120-61-4128

見積無料

ご自宅の外壁塗装や屋根塗装をお考えの方へ

2019年度(株)プロタイムズジャパン
お客様満足度
施工品質部門 **全国1位**
営業品質部門 **全国1位**
選ばれた
サンエキへご相談してみませんか?

建物診断や見積りは無料で承ります。ご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

住まいのかけつけ **046-228-0774** 営業時間:9時~19時/定休日:日曜・祝日
PCやスマホで問い合わせの方 **SANEKI** 〒243-0021 神奈川県厚木市岡田5-22-18 塗装 サンエキ 検索